

ごん吉くんしポート〜南吉よもやま話〜

第7回

児童文学者と故郷

① 宮沢賢治



昨年11月24日、新美南吉記念館の開館20周年を記念したシンポジウムがアイプラザ半田で開かれました。岩手県花巻市の宮沢賢治記念館と山口県長門市の金子みすゞ記念館から関係者をお招きし、児童文学者の故郷のまちが運営する文学館として、地域の中でどう顕彰活動を進めていったらいいか、を考える内容でした。

「どうして宮沢賢治と金子みすゞなの？有名どころを揃えたんでしょ。」という声が聞こえて来そうですが、そうではありません。二人とも南吉と繋がりがあり、何よりその故郷のまちで行われている活動が私たちの参考になるからです。そこで今回と次回で、それぞれのまちの取り組みをご紹介します。



まずは南吉もその才能を高く評価した宮沢賢治から。花巻市街を見下ろす胡四王山に宮沢賢治記念館（写真）が開館したのは、賢治の死から半世紀後の昭和57年でした。この頃から、アニメ「銀河鉄道999」など、それまでにはない取り上げ方をされるようになり、賢治の多彩で不思議な

市役所には「賢治まちづくり課」があつて、賢治に関連するいろんな市民団体や機関を結び付け、まちづくりに活かしているよ。

議な魅力が浸透していきます。その結果、賢治を文学者としてだけ見るのではない、裾野の広いファンが生まれました。花巻市では、こうした人々による多様な研究や実践の成果を集め、誰でも利用し、交流できる場として、平成2年、宮沢賢治学会イーハトーブセンターを設立。拠点施設としてイーハトーブ館も建設します。さらに生誕百年の平成8年には、子どもも楽しみながら賢治の世界に触れられる宮沢賢治童話村を整備しました。これら3館が連携して賢治を発信し、全国の賢治ファンと地元の人たちが交流する舞台になつていくのです。

これからの地元を担う子どもたちへは、市内の小中学校や高校を対象に出前授業が行われています。難しいとも言われる賢治作品に親しんでもらうために、ただ賢治の話をするのではなく、学校の要望を聞きながら、演劇、音楽、科学など様々な分野の講師を記念館から派遣しています。

このように、花巻市では賢治の特徴に合わせた取り組みが積極的に行われ、故郷のまちとしての意識を高めているのです。

まちかどVoice

Q

家庭から出るごみをクリーンセンターに持込みたいのですが、注意することはありますか？

A

持込みができる日時は、月～金曜日（祝日含む）8時30分～16時です。

土・日曜日は、予約制で「粗大ごみ」のみを受け入れています。直前の金曜日までにご予約ください（土曜日：13時～16時30分、日曜日：9時～13時30分）。

また、家庭から出るごみの中でも、お受け取りできないものがあります。テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・乾燥機、自動車部品、消火器、劇薬・ペンキ類、土・石、ブロックなどの処理困難物は、お買い求めの販売店や専門の業者に依頼してください。

その他ご不明な点がありましたら、クリーンセンターへお問い合わせください。

【問合わせ】 クリーンセンター ☎23-3567

